

dd-EC療法

+ 大津赤十字病院 薬剤部

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを2週間毎繰り返します。

				← 1クール →		
				第1日目	2日	3～14日
薬剤名	外観	液色	薬効	投与方法	点滴	点滴
① パロノセトロンバック アロカリス注 デカドロン注		無色	むかつき、吐き気及びお薬の過敏症を抑えます。	↓ 30分・点滴	お休み	お休み
② 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 全開・点滴		
③ エピルビシン注 [®] (エピルビシン)		赤色	細胞増殖を抑えます。	↓ 10分・点滴		
④ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 全開・点滴		
⑤ エンドキサン注 [®] (シクロホスファミド)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 30分・点滴		
⑥ 生食注		無色	お薬を洗い流します。	↓ 全開・点滴		
⑦ ペグフィルグラスチム注		無色	発熱性好中球減少症の予防。	皮下注射	↓	

※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。※また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

【注意事項】

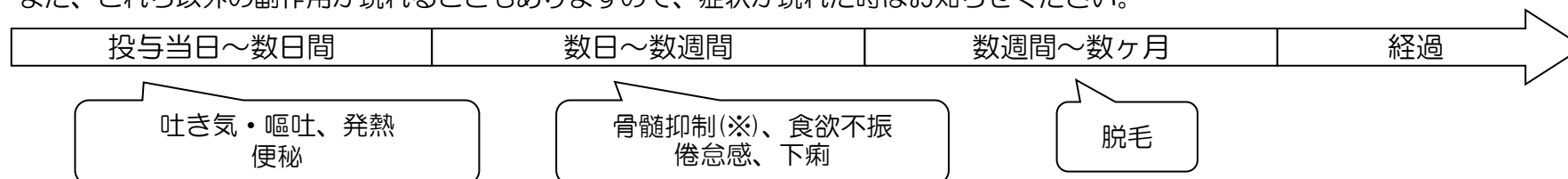
点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。このような症状がありましたら速やかにお知らせください。

また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。

エピルビシン注を点滴した後の初めの尿が赤くなることはありますが、お薬の性質によるものですので問題ありません。ただし、赤みを帯びた尿が続くようでしたら、速やかにお知らせください。

【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。
これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。
また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。



【注意が必要な副作用】

※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。
骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

頻度は高くありませんが、次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

- 骨髄抑制 : ★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
- 過敏症 : ★呼吸困難、じん麻疹、眼および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈
- 消化器症状 : ★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
- 心障害 : ★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頸部の締め付け、圧迫感、冷汗
- 腎障害 : ★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
- 肝障害 : ★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
- 皮膚障害 : ★中央に浮腫を伴った発疹、まぶた・眼球結膜の充血、口腔内の痛みを伴った粘膜疹
- 脳障害 : ★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、うまく話せない、けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
- 肺障害 : ★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
- 嗅覚障害 : ★臭いが感じにくくなる
- 手足症候群 : ★手のひらや足の裏がぴりぴりする、指先の感覚異常、皮膚や爪の変色
- 出血性膀胱炎、排尿障害 : ★排尿時の痛み、残尿感、頻尿、赤色尿、発熱
- 抗利尿ホルモン不適合分泌不全 : ★全身倦怠感、無気力、眠気、意識障害、昏睡
- 下痢・脱水 : ★口の渇き、手足のふるえ、過呼吸、重度の下痢、意識障害(時に昏睡)
- 出血 : ★口から血を吐く、血便、鼻血や歯肉、膣からの出血

連絡先 大津赤十字病院

TEL 077-522-4131

平日8:30 ～ 17:00 受診されている診療科

平日17:00 ～ 翌8:30 及び 休日 救急外来